(別添資料1)

事業所名 放課後等デイサービスHana すかや 支援プログラム 作成日 令和7 年 3月 20日 ・遊びと療育の融合、そして自立の心を第一に考え日々の支援を通して心の成長と共に歩むサービスを心がけます。 法人(事業所)理念 ・10年後に向けた支援、利用児童にとってHanaが通過点ではなく分岐点になるように考えます。 ・いつか必ずやってくる「親からの自立」をしっかりと見据えお子様だけではなく家族にも寄り添うサービスを心がけます。 (集団遊びと個々の療育を通して、社会に必要なルールやマナー・決ま り事を体験し経験を重ねてほしい) 支援方針 営業日 月~土 年末年始 休み 営業時間 (平日) 下校時間 17:30 送迎実施の有無 から まで あり 営業時間 (午前下校) 下校時間 から 15:00 まで 送迎実施の有無 あり 延長対応 15:00~17:30 営業時間 (平日) 9:30 から まで 送迎実施の有無 延長対応 14:30~17:00 あり 支 援 内 容 ○心身の健康状態の把握 ・日々の生活での状況も確認しながら、支援中の健康観察を実施していき、小さな変化に気づけるように努めます。 ○基本的生活の獲得、向上 ・身支度や排泄、食事など生活に必要な基本的な生活習慣が獲得できるように子どもの状態や特性に合わせて適切な支援を行なうように努めます。 健康・生活 ・身文度や排池。 良事など生活に必要な基本的な生活首慎が獲得できるように子どもの状態や特性に合わて ○姿勢や運動・動作の向上 ・手先の器用さやパランス感覚の向上に努めます。 ・日常生活に必要な基本動作や姿勢保持や身体の運動、動作の改善や習得、筋力の維持、強化を図ります。 ○感覚の特性を踏まえて感覚の偏りに対する環境調整を行います。 運動・感覚 ○認知の特性についての理解と対応

 一人一人の認知の特性を理解し自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援を行います。
 こだわり等に対する状況を確認し適切に対応支援できるように努めます。

○行動障害への予防及び対応

 コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防及び適切に対応できるように支援を行います。

 認知・行動 援 ○コミュニケーションの基礎的能力の向上 ・言葉によるコミュニケーションだけではなく、表情や身振り、視覚での絵や記号などを活用して意志のやり取りが行なえるように支援を行います。 ○状況に応じたコミュニケーション ・場面や相手の状況に応じて、伝える側、受け取る側との人間関係を把握し、円滑にコミュニケーションが図れるよう支援を行います。 言語 コミュニケーション 人間関係 社会性 法人内での連携もとり児童の成長や課題に対してスムーズな支援ができるように連 携を図ります。 法人で運営している相談支援事業所とも連携をとり、様々な状況に合わせた支援の 情報を適切にお伝え出来るように行っていきます。 ご家族と相談、報告、連絡を行いながら連携を図り、本人の選択肢が広がるようにと自己決定ができるように具体的な選択肢を提供できるようにしていきます。延長対応をすることでレスパイト的な側面での支援も行なっていきます。 家族支援 移行支援 学校や他の障害福祉サービス事業所と必要に応じて連携を図ります。 地域との関わりが行なえるように外出の機会を設け、地域、社会との交流を取 りながら、社会生活のルールやマナーを体験、経験できるように支援していき ます。 事業所内での研修機会を密に設け、勉強会やケース会議の実施します。虐待、身体拘束、感染症、緊急避難、災害等の研修を年間通して実施をします。 地域支援・地域連携 職員の質の向上

> ・4月 花見、ピクニック 5月 遠足 6月ファミリー工作・野菜収穫 7月 お買い物体験 8月 昼食外食 9月 昼食クッキング・避難訓練 10月 親子交流会・ハロウィンイベント 11月 運動会 12月 クリスマスイベント・年質状作成 1月 初詣 2月 節分・親子交流会 3月 おやつ外食

主な行事等